

主体別リスク抽出結果

主体	役割/具体例	区分	関係する機器や情報	想定されるおもな脅威	想定されるおもな発生リスク
利用者	自律移動支援システム的一般利用者 ・視覚障害者 ・聴覚障害者 ・車椅子利用者 ・健常者(外国人)	機密性	・端末 ・認証情報 ・利用者情報	(情報の漏洩) ・利用者情報(氏名、属性、行動履歴等)の第三者への漏洩 ・場所情報や要求情報の第三者への漏洩 など	・利用者の属性(視覚障害者、聴覚障害者)などが第三者へ漏洩し、悪用される ・いどこにいたかという場所情報の履歴が、第三者に漏洩し悪用される
		完全性	・端末 ・利用者情報	(誤情報の提供) ・誤った場所情報の提供 ・誤ったコンテンツの提供 (情報の改ざん) ・利用者情報(氏名、属性、行動履歴等)の登録ミス など	・利用者が、想定していた目的とは別のルートを指示される。もしくは目的地が見つからない ・利用者が、誤った周辺情報等を提供される ・利用者が求めるサービスが受けられない
		可用性	・端末 ・利用者情報	(サービスの利用停止) ・機器の損傷によりサービスが受けられない ・利用事務手続ミスによるサービス利用の停止 (機器の誤動作) ・誤って情報端末を操作したことによる誤動作 など	・定められた利用事務手続を取らないことにより、サービスが受けられない ・情報端末に慣れないことから、誤った操作を行い、適切にサービスを受けられなくなる
場所情報コード格納機器設置者・管理者(インテリジェント基準点含む)	道路や施設等に場所情報コード格納機器を設置及び管理する ・国 ・地方公共団体 ・不動産開発会社 ・施設所有者 ・地権者等	機密性	・場所情報コードに偽造防止用に認証を行う場合、認証情報	(情報の漏洩) ・基準点、場所情報コード格納機器に記憶されている場所情報コードの第三者への漏洩、偽造 など	・場所情報が、悪質ないたずらや妨害行動に利用される
		完全性	・場所情報コード格納機器 ・場所情報コード	(誤情報の提供) ・基準点、場所情報コード格納機器が誤った場所への設置 (情報の改ざん) ・基準点、場所情報コード格納機器の情報の改ざん ・基準点、場所情報コード格納機器上に別のコードを示すシールの貼付 ・基準点、場所情報コード格納機器の偽物の、想定された場所以外への設置 ・基準点、場所情報コード格納機器の電波干渉等による誤情報の提供 など	・利用者が、想定していた目的とは別のルートを指示される。もしくは目的地が見つからない ・利用者が、誤った周辺情報等を提供される ・誤った位置情報が提供され、サービスによっては人命が危険にさらされるおそれもある ・適正なサービス運営が困難になる
		可用性	・場所情報コード格納機器	(サービスの利用停止) ・基準点、場所情報コード格納機器の物理的な破壊、劣化 ・基準点、場所情報コード格納機器の物体による隠蔽 ・基準点、場所情報コード格納機器の移動 ・基準点、場所情報コード格納機器の盗難 (機器の誤動作) ・基準点、場所情報コード格納機器の電波干渉等による誤動作 など	・悪意を持った者が基準点、場所情報コード格納機器を物理的に破壊することで、利用者が現在の居場所や進む方向が分からなくなる ・基準点、場所情報コード格納機器上に自転車や車が駐車されることで、端末機器との通信が正常に行われなくなり、利用者が現在の居場所や進む方向が分からなくなる ・基準点、場所情報コード格納機器が移動されたり盗まれることで、適正なサービス運営が困難になる

主体	役割/具体例	区分	関係する機器や情報	想定されるおもな脅威	想定されるおもな発生リスク
街角情報ステーション設置・管理者	街角情報ステーションを設置・設置する ・国 ・地方公共団体等	機密性	・ステーション端末機器 ・ステーション端末機器蓄積情報	(情報の漏洩) ・不正操作による蓄積された場所情報コード解決情報の漏洩 ・不正操作によるログ情報の漏洩 ・ウイルス感染による蓄積された場所情報コード解決情報の漏洩 など	・いっどこにいたかという場所情報の履歴が、第三者に漏洩し悪用される
		完全性	・ステーション端末機器 ・ステーション端末機器蓄積情報	(誤情報の提供) ・コンテンツの更新が停止したことによる誤情報の提供 ・実装ソフト等の不具合による誤情報の提供 (情報の改ざん) ・不正操作、不正アクセスによる誤情報の提供 など	・利用者が、想定していた目的とは別のルートを指示される。もしくは目的地が見つからない ・利用者が、誤った周辺情報等を提供される ・適正なサービス運営が困難になる
		可用性	・ステーション端末機器	(サービスの利用停止) ・機器の故障によるサービス停止 ・電源供給停止によるサービス停止 (機器の誤動作) ・実装ソフトや機器の不具合による誤動作 など	・街角情報ステーションを活用したサービスが受けられなくなる
場所情報コード管理センター	場所情報コードの解決サービスを提供する ・場所情報コード管理センター	機密性	・管理サーバー ・LAN ・媒体 等	(情報の漏洩) ・不正アクセス、不正使用、ウイルス感染による利用者情報(氏名、属性、行動履歴)の第三者への漏洩 ・不正アクセス、不正使用、ウイルス感染による場所情報や要求情報の第三者への漏洩 など	・利用者情報が、部外者に漏洩し悪用される。 ・サービスの運営へ障害を与えかねない情報が漏洩する
		完全性	・管理サーバー 等	(誤情報の提供) ・誤った場所情報コード解決による誤情報の提供 (情報の改ざん) ・場所情報コードの改ざんによる誤情報の提供 など	・利用者が、想定していた目的とは別のルートを指示される。もしくは目的地が見つからない ・利用者が、誤った周辺情報等を提供される ・利用者に適したサービスが提供できなくなる ・適正なサービス運営が困難になる
		可用性	・管理サーバー ・LAN 等	(サービスの利用停止) ・システムダウンや電源供給停止等によるサービスの停止 ・DoS攻撃等によるサービスの停止 (機器の誤動作) ・サーバー等の誤動作により正常なサービスが停止する など	・場所情報コード解決サービスが停止し、サービス全体の運営が困難になる

主体	役割/具体例	区分	関係する機器や情報	想定されるおもな脅威	想定されるおもな発生リスク
認証かぎ発行機関	eTRON 認証に必要な鍵を発行する 認証かぎ発行機関運営者	機密性	・管理サーバー ・LAN ・媒体 等	(情報の漏洩) ・不正アクセス、不正使用、ウィルス感染による認証鍵情報の第三者への漏洩 など	・認証情報が漏洩することにより、許可された利用者以外の利用がなされ、利用者情報を始めとする情報漏洩や有料サービス等の不正利用等が起こる
		完全性	・管理サーバー 等	(誤情報の提供) ・誤った認証情報の提供 (情報の改ざん) ・正当でないものが正しいものとして認証される。 など	・正当な利用者の利用が妨げられる ・不正な利用に結びつくおそれがある ・なりすましにより、不正使用される
		可用性	・管理サーバー ・LAN 等	(サービスの利用停止) ・システムダウンや電源供給停止等によるサービスの停止 ・DoS攻撃等によるサービスの停止 (機器の誤動作) ・サーバー等の誤動作により正常なサービスが停止する など	・認証を利用したすべてのサービスの提供が停止する
通信ネットワーク提供者	システムの提供・利用に必要な情報を伝達する ・電気通信事業者 ・施設管理会社 ・施設所有者 ・地権者 等	機密性	・ネットワーク回線全般	(情報の漏洩) ・通信経路上の情報が盗聴等により漏洩する。 など	・利用者情報や認証情報を始めとする情報漏洩が起こる
		完全性	・ネットワーク回線全般	(誤情報の提供) ・ネットワーク機器の障害やノイズ等により誤情報が伝送される。 (情報の改ざん) ・通信経路上で情報の改ざんがなされる。 など	・利用者が、誤った場所情報やコンテンツを提供される ・不正アクセスやサービスの妨害が発生する
		可用性	・ネットワーク回線全般	(サービスの利用停止) ・ネットワーク機器や回線断、電源供給停止等により利用している通信サービスが停止する。 (機器の誤動作) ・ネットワーク機器等の誤動作により正常なサービスが停止する など	・ネットワークを利用したサービス全体が停止する
コンテンツサービス提供者	利用者からリクエストのあった情報やサービスを提供する ・国 ・地方公共団体 ・情報提供サービス会社 ・店舗 ・公共交通機関等	機密性	・管理サーバー ・LAN ・媒体 等	(情報の漏洩) ・不正アクセス、不正使用、ウィルス感染による利用者情報の漏洩 ・不正アクセス、不正使用、ウィルス感染による機密情報の漏洩 など	・利用者情報が、部外者に漏洩し悪用される。 ・サービスの運営へ障害を与えかねない情報や有料コンテンツが漏洩する
		完全性	・管理サーバー 等	(誤情報の提供) ・登録ミスやシステムの不具合による誤情報の提供 (情報の改ざん) ・コンテンツの改ざんによる誤情報の提供 など	・利用者が、想定していた目的とは別のルートを指示される。もしくは目的地が見つからない ・利用者が、誤った周辺情報等を提供される
		可用性	・管理サーバー ・LAN 等	(サービスの利用停止) ・システムダウンや電源供給停止等によるサービスの停止 ・DoS攻撃等によるサービスの停止 (機器の誤動作) ・サーバー等の誤動作により正常なサービスが停止する など	・当該サービスの提供が停止する(当該事業者に損害賠償等請求等が起こる可能性がある)

主体	役割/具体例	区分	関係する機器や情報	想定されるおもな脅威	想定されるおもな発生リスク
場所情報コード格納機器製造者	場所情報コード格納機器を製造する 電機メーカー等	機密性	・場所情報格納機器	(情報の漏洩) ・場所情報コードに認証情報を埋め込む場合に、認証情報が漏洩する など	・マーカール等が偽造され、いたずらやサービスの妨害、悪質利用にあう
		完全性	・場所情報格納機器	(誤情報の提供) ・情報の登録ミスにより誤情報が提供される。 (情報の改ざん) ・故意に正しくない情報が登録され、誤情報が提供される。 など	・利用者が、想定していた目的とは別のルートを指示される。もしくは目的地が見つからない ・利用者が、誤った周辺情報等を提供される
		可用性	・場所情報格納機器	(サービスの利用停止) ・機器の設計・製造上の不良により、求められた機能が発揮されない。 (機器の誤動作) ・機器の設計・製造上の不良により、機器が誤動作する。 など	・当該地点において場所情報が得られなくなり、それを活用したサービスが得られなくなる
端末製造者 街角情報ステーション製造者	自律移動支援システムで活用する端末を製造する ・電機メーカー	機密性	・端末(UC等) ・街角情報ステーション	(情報の漏洩) ・機器の設計・製造上の問題から利用者情報の第三者への漏洩 ・機器の設計・製造上の問題からその他の機密情報の第三者への漏洩 など	・利用者情報や属性、行動履歴などの利用者情報が、第三者に漏洩し悪用される ・機密情報が第三者へ漏洩し悪用される ・サービスの運営へ障害を与えかねない情報が漏洩する
		完全性	・端末(UC等) ・街角情報ステーション	(誤情報の提供) ・機器の設計・製造上の問題から、誤情報が提供される など	・利用者が、想定していた目的とは別のルートを指示される。もしくは目的地が見つからない ・利用者が、誤った周辺情報等を提供される
		可用性	・端末(UC等) ・街角情報ステーション	(サービスの利用停止) ・機器の設計・製造上の問題から、動作しなくなる (機器の誤動作) ・機器の設計・製造上の問題から、機器が誤動作により利用停止する など	・利用者が、現在の居場所や進む方向が分からなくなる ・利用者が、適切にサービスを受けられなくなる